



後期読書旬間（12/2～12/15）がはじまりました

12月2日から2週間、“後期校内読書旬間”を行っています。今年度は残念ながら、新型コロナウイルスの影響で、保護者の皆様の読み聞かせ等も実施できない状況ですが、この機会に、学校やご家庭で、子どもたちが一冊でも多くの本に親しみ、読書の楽しさを味わうことができるよう、いくつかの活動を計画しました。ぜひ、この機会にご家庭でも読書に親しんでください。読書旬間の活動を通して、一冊でも多くの本とふれあって、子どもたちに「読書は楽しいな。」と感じてほしいと願っています。

★読書ビンゴカード

- ◆ 各学年ごとのビンゴカードを使い、カードに指定された本を読んだら、書名を記入して色を塗っていきます。ふだん、自分ではあまり選ばない本を読むきっかけになればいいなと思っています。
- ◆ 初めの1列ができれば、図書委員会が作ったしおりをプレゼントします。カード全部に色を塗れたら、スペシャルプレゼントがあります。

読書ビンゴカード 3年（ ）		
☆ マスの中に書いてある本を読んだら、四角の中に書名を書いて色をぬってね。		
図書委員が3年生に すすめる本 「こまったさん・わかったさん」 シリーズ	虫や動物など生きものにつ いて書かれた本	食べものについて 書かれた本
()さんの おすすめの本	3年生の教科書に しょうかいされている本	自分のおすすめの本
斎藤隆介さんが 書いた本	むかしばなしの本	詩の本 (ラベル911)
☆ 初めの1列ができれば、しおりをプレゼント。ビンゴ カード全部に色がぬれたら、スペシャルプレゼントがあり ます。		しおり スペシャル

★読書がんばりカード

- それぞれが目標冊数・ページを決めて、達成に向けて2週間取り組みます。
 - 家読に取り組みます。
- 読書旬間中におうちの人(家族のだれか)と子どもで一緒に読書を行います。詳しくは右面をご覧ください。

★委員会の活動

◆若草朝会「ミニビブリオバトル」

子ども司書養成講座でソフィアセンターの皆さんから教えていただいたビブリオバトルを、全校のみんなでやってみます。「ビブリオバトルって何？」と思われた方は、裏面をご覧ください。



^{うちどく}家読にご協力ください

【**おうちの人と本を読もう**】…読書旬間中におうちの人（家族の誰か）と子どもと一緒に読書をする時間をとっていただきたいと思います。一緒に同じ本を読むだけでなく、お子さんに本を読んで聞かせる、お子さんが本を読むのを聞いてあげる、家族で同じ部屋で別々の本を読む、それぞれが読んだ本について語り合うなど、各家庭に合った方法で取り組んでいただければと思います。



ご多忙の折、恐縮ですが、ご家庭で、お子さんがどのような本に興味があるのか、また、こんな本を読んで欲しいなど読書について話をする絶好の機会です。ぜひ、おうちでもお子さんの読書の様子を見守ったり、励ましたりしてください。（カードの記入については、下に説明を載せました。お家の人からのメッセージの記入をお願いします。）

読書カードの記入について



よんだ日	
だれとよみましたか？	
よんだ本のだいめい	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>親子読書の欄には、子どもたちが</p> <ul style="list-style-type: none"> 読んだ日 だれと読んだか 読んだ本の題名 読んだ本の感想 お家の人と読んだ感想 <p style="text-align: right;">を書きます。</p> </div> <p>保護者の皆様から</p> <ul style="list-style-type: none"> お家の人からのメッセージ <p>の記入をお願いします。</p>
（おうちの方用：お子さんとちがう本を読んだという方はこちらへ）	

おうちの方から（一緒に読書をした感想、お子さんに一言、励ましのメッセージなど）

表面【親子読書の欄について】

裏面【読書記録について】

日づけ	ばんごう	よんだ本のなまえ	よんだページ
2 (水)	9	ぞくぞく村のミイラのラムさん	1 ページから 20 ページまで

家庭で読んだ本の題名とページ数を書きます。
毎日、忘れずに記入するように声かけをお願いします。

ビブリオバトルをやってみよう！

「ビブリオバトル」は、2007年に京都大学で始まった本の紹介コミュニケーションゲームです。「人を通して本を知る 本を通して人を知る」をキャッチコピーに、日本全国に広がっていて、今では、中学生、高校生、大学生の全国大会も行われています。たまに、ニュース番組等に取り上げられているので、ご覧になったことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



ビブリオバトルの公式ルールは、

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる.
2. 順番に一人5分間で本を紹介する.
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う.
4. 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする.

「知的書評合戦ビブリオバトル」公式ウェブサイト(<http://www.bibliobattle.jp/>)参照

というものです。本の紹介を通して、発表者は「私はこういう本が好きで、こういう考えを持っている人です」ということを伝えることができ、聞いている人は「こんなことを考えているんだ」と友達を知ることができます。新しい本と出会えるだけでなく、友達についても深く知ることができるということで、人気が高まっています。



図書委員会の子どもたちは、9月2日（水）の第4回子ども司書養成講座で、ソフィアセンターの皆さんから、ビブリオバトルのやり方を教えていただき、紹介していただいた本についての質問タイムや投票を実際に体験しました。そして、10月21日（水）の第5回の講座では、本の紹介にも挑戦しました。

12月8日（火）の若草朝会では、図書委員会の子どもたちが本を紹介し、全校の子どもたちが読みたい本を選んで投票するビブリオバトル（今回は、持ち時間が一人3分間のミニビブリオバトル）をやってみます。どんな本がチャンプ本に選ばれるか楽しみです。

10月15日（木）から11月17日（火）までの間、二田小学校の図書委員会の子どもたちが作った本のPOPがソフィアセンターに展示されました。

